

# 農業用ハウスへの備え 出来ていますか？ ～園芸施設共済 補償拡充でもしもの災害も安心！～


お問合せ先  
農業振興普及課  
0920-45-3038

令和2年の台風9号、10号により壱岐地域では3億4,571万円の農業被害を生じ、うち農業用ハウスの被害（ハウス内の農作物被害を除く）は2億1,822万円に上りました。

気象変動が地球規模で激しくなっており、強風害など**自然災害は今後ますます増える**ことが心配されます。

**園芸施設共済**は令和2年9月に見直され、**補償が更に充実**しました。

**未加入の方、新たな補償への切り替えがまだの方は、ぜひ検討しましょう！**



**被害にあっても共済金が少ないなあ**

**改善しました！**

補償額は、新築時の資産価値の**8割（耐用年数超過後は6割）**が上限でしたが、**10割まで補償**できるようにしました

**ビニールが破れただけの小さな被害も補償がほしいわ**

**改善しました！**

損害額が**3万円（又は共済価額の5%）**を超えないと補償されませんでした、**1万円から補償**できるようにしました

上記のほか、次の改善も行いました

- ・農業者自身が復旧作業を行った場合も、共済金の支払対象に追加（復旧費用特約）

詳しくは、農業振興普及課または農業共済組合壱岐支所にお問い合わせください

## スマート水産業の取組み

お問合せ先  
壱岐水産業  
普及指導センター  
0920-48-5212

「ICT」とはインターネットなどの情報処理・通信技術を活用した技術のことで、様々な産業分野で「ICT」により得られた情報を活用する取り組みが積極的に行なわれています。

国の方でも「ICT、IoT（モノのインターネット）等の先端技術の活用により、水産資源の持続的利用と水産業の産業としての持続的成長の両立を実現する次世代の水産業」をスマート水産業と位置づけて、「水産物の流通」、「漁業の自動化・省力化」、「養殖業の高度化」、「漁海況情報の精度向上」、「資源評価の高度化」など取り組まれています。

「漁海況情報の精度向上」については、長崎県でも、九州大学、福岡県、佐賀県、民間企業が連携し、九州北部水域での漁海況予測システムの開発の取り組みが進められており、これらの技術を用いた水温、塩分、流れなどの海況情報や将来予測を漁業者らが閲覧し、操業に活用することが試験的に始まっているところです。

なお、長崎県では、新聞や県庁ホームページを使って、漁海況週報や漁海況通信による県内の漁模様や水温情報なども提供しております。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。  
<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

2次元バーコード



漁海況週報

【漁況概要】

【漁海況概要】

【日本海スルメイカ情報】

【お知らせ】